

脳神経外科

1 研修目標

(1) 一般目標 (GIO: General Instructional Objective)

医師として基本的に必要な脳神経疾患についての知識、診断・検査及び医療技術を習得することを目標とし、手術にも積極的に参加する。

- ① 医師として必要な基本的な神経学的診察法、検査手技を習得する。
- ② 画像診断に必要な基本的知識を習得する。
- ③ 神経系疾患が疑われる救急患者に対して、適切な初期対応ができる。
- ④ 主たる脳神経外科疾患における術前・術後管理を習得する。
- ⑤ 指導医のもと、穿頭ドレナージ術等の局所麻酔手術の術者となる。

(2) 行動目標 (SBOs : Specific Behavior Objectives)

- ① 脳神経系の診察：指導医とともに適切な病歴聴取、神経学的診察を行い、神経解剖学に基づいた局在診断を行うことができる。
- ② CT 及び MRI：CT 及び MRI 画像を読影でき、基本的な脳神経疾患の画像診断ができる。
- ③ 脳血管撮影：臨床的意義と患者に検査説明をし得る知識を習得し、検査前あるいは結果説明に立ち合う。また、放射線科医とともに検査に入り、助手を務める。
- ④ 脳血流シンチ：基礎的知識を習得し、結果の判断が可能な段階に到達する。手術適応の判断根拠としての重要性を理解する。
- ⑤ 集中治療室における管理：重症の脳血管障害や頭部外傷患者に対して集中治療室において麻酔科医師とともに診療にあたり、全身管理を学ぶ。
- ⑥ 局所麻酔下での手術：手術の適応や危険性を理解し、手術に参加する。また、可能な限り指導医のもとで術者を経験する。適切な術後管理を行うことができる。家族への術後の説明に立ち会う。
- ⑦ 全身麻酔下での手術：手術の適応や危険性を理解し、助手として手術に参加する。適切な術後管理を行うことができる。家族への術後の説明に立ち会う。
- ⑧ ガンマナイフ及びノバルスによる定位放射線治療：ガンマナイフやノバルスの基本原理を知り、その適応疾患や治療効果を理解する。フレーム及びマスク固定や治療計画立案に参加する。
- ⑨ 脳神経系治療薬：抗痙攣剤や抗脳浮腫剤等の脳外科領域で汎用される薬剤について効能と副作用を学び、習得する。
- ⑩ その他：当科では症例報告となり得る珍しい症例も多く、常に最新の文献を検索し、そこから学ぶ姿勢を身につける。

2 研修方略

(1) ローテート法

上記項目を目標とし、脳外科グループの一員として全症例を経験する。

救急症例の初期治療、病棟でのさまざまな処置や検査手技を実際に行い体得する。症例に即した小講義を適宜行う。また、珍しい症例を経験した場合には学会発表や論文執筆（症例報告）の指導も併せて行う。

(2) 学習方法

	行動目標	方法	場所	担当者
1	① ② ③ ④ ⑤ ⑩	講義	カンファレンス室	全員
2	① ⑥	実地診療	病室, ICU	全員
3	⑦ ⑧	見学、参加	手術室	全員
4	⑨	見学、参加	ガンマナイフ室	周藤
5	② ③ ④ ⑤ ⑩ ⑪	カンファレンス	カンファレンス室	全員
6	② ④ ⑤ ⑩	自習		

上記に関し、より具体的には以下の通りである。

- a 入院患者の受持医として、指導医の助言、助力を得ながら、術前の診察、全身評価を行い、カルテに記載する。
- b 指導医が患者と家族に行う説明に参加し、インフォームド・コンセントやコミュニケーションの方法を修得する。
- c 可能な限り多くの手術に手洗いをして参加する。指導医の助力を得ながら開頭・閉頭や局所麻酔下手術等の手技を研修・体得する。
- d 手術後は輸液管理や呼吸管理、水分バランスなどの全身管理を研修する。創部の消毒法や脳室ドレナージの管理、鎮痛剤等の使用法も修得する。
- e 脳神経外科カンファレンス（平日朝，夕）で症例の提示、報告を行う。
- f リハビリテーション科（隔週月曜日）との合同カンファレンスに参加する。
- g 適宜行われる学会予演会や報告会、死亡症例検討会に参加する。

(3) 週間スケジュール

- 月曜 午前 8 時 00 分から：病棟カンファレンス
午後 4 時 30 分から（隔週）：リハビリカンファレンス（5 階北病棟カンファレンス室）
午後 5 時 00 分から：病棟カンファレンス（5 階北病棟，感染拡大時は web）
- 火曜 午前 8 時 00 分から：病棟カンファレンス
手術
午後 4 時 30 分から：病棟カンファレンス（5 階北病棟，感染拡大時は web）
- 水曜 午前 8 時 00 分から：病棟カンファレンス
午後 4 時 30 分から：病棟カンファレンス（5 階北病棟，感染拡大時は web）

木曜 午前 8 時 00 分から：病棟カンファレンス
手術
午後 4 時 30 分から：病棟カンファレンス（5 階北病棟，感染拡大時は web）
金曜 午前 8 時 00 分から：病棟カンファレンス
午後 4 時 30 分から：病棟カンファレンス（5 階北病棟，感染拡大時は web）

3 研修計画責任者

脳神経外科 部長 周藤 高

4 研修指導医

脳神経外科 副部長 松永 成生

脳神経外科 医師 福山龍太郎

5 評価

- (1) 研修医は別掲の経験目標に従って自己の研修内容を記録し、指導医に提出する。また手術及び処置の手技、診療能力の評価を指導医に受ける。
- (2) 指導医は研修医の研修態度について評価する。
- (3) 経験目標の達成状況を評価する。チェックリストを用い、研修医自身及び指導医が実施する。
- (4) 到達目標・経験目標の達成状況を当科研修期間終了時に、指導医が評定尺度（5段階評定）により行う。また、研修医による指導医及びプログラムの評価も同様に行い、その結果は指導医、診療科へフィードバックされる。
- (5) 指導医は上記評価結果を総合し、当科研修終了の判定を行う。